プロフェッショナル　仕事の流儀
撮って、僕らのこころ
昆虫写真家　栗林慧

放送日：2018年8月27日　放送時間：45分

対象校種　小学校　中学校　高校

対象教科　理科

この番組の良さ

● 生き物の生きる姿

カマキリのような大型三輪バイクで疾走する栗林慧さんは、国際的な科学写真賞を数多く受賞し、今も昆虫写真の第一線で活躍し続けています。

「昆虫の世界に入っていけたらいい」…そう願う栗林さんは、ありきたりの機材では自分だけの一枚は撮れないと、虫の目レンズやセンサーカメラ等、撮影機材も手作りにこだわっています。

昆虫の感情まで伝わってくるその写真は、圧倒的な躍動感と美しさに溢れ、昆虫嫌いな人をも一瞬で変える魅力をもっています。

● 永遠の昆虫少年

栗林さんは、自然豊かな長崎県平戸市で、今も四季を通じ、愛と命に満ちた写真を撮り続けています。

初夏、生涯最高の一枚を狙って挑んだのが、ホタルの大乱舞です。だがそこに、思わぬ壁が立ちはだかります。永遠の昆虫少年の執念は実るのでしょうか?

番組活用のポイント

● 小さな命に温かなまなざしを送る

子供たちにとって最も身近な自然といえば、自宅の庭や近所の公園、空き地や畑、校庭などが挙げられます。それらの環境の中で生きている身近な命の一つである昆虫。番組から伝わってくる自然のすばらしさや栗林さんの昆虫にかける情熱から、小さな命である昆虫に興味や関心をもてることでしょう。

そして、栗林さんが昆虫を撮影する様子から、予想や仮説をもって行う、生き物の観察の方法や記録の取り方について学ぶことができます。

番組視聴後、理科等で行う昆虫や植物の観察・調査を通じて、命や自然環境の大切さに触れ、生き物のことをもっと調べてみたいと思う気持ちになることでしょう。

● あきらめない努力

栗林さんが語る「あきらめない努力…それが一番大切だと思っている。」という言葉やその生き方から、自分が決めたことを最後までやり抜く大切さを感じ取ることができます。

番組後半の、写真家人生の集大成をかけたホタルの写真撮影の現場や栗林さんの言葉から、困難を乗り越えてゆく力や作品にかける強い思いを知ることができます。苦労の末撮影された一枚の写真には、ホタルが命の炎を燃やして最後に灯す光が水面で瞬く様が撮影されており、見る者に命の美しさと尊さを語りかけてくれます。

この番組を視聴することにより、自分の使命とは何かを考え、そして、今の状況に満足せず、さらに前に向かって進んでゆこうという気持ちを高めることができるでしょう。

執筆者
海陽町立海部小学校
教諭　溝内正剛